



ブレード サーバの取り付け

この章は、次の項で構成されています。

- [ブレード サーバの取り付け \(1 ページ\)](#)
- [Server Configuration \(3 ページ\)](#)
- [電源ボタンを使用したブレード サーバの電源オフ \(3 ページ\)](#)
- [ブレード サーバの削除 \(4 ページ\)](#)
- [サーバのトラブルシューティング \(5 ページ\)](#)

ブレード サーバの取り付け

シャーシ内に幅と高さの異なる UCS ブレードを取り付ける場合、ガイドラインでは、シャーシの下部に最も重くて大きいブレードを配置するよう勧めています。そのため、UCS B460 ブレード サーバがある場合は最下部に取り付けてください。続いて UCS B460 M4 の上に UCS B420 または UCS B480 などのフル幅ブレードを取り付け、その後に UCS B200 などのハーフ幅ブレードをシャーシの上部に取り付ける必要があります。

始める前に

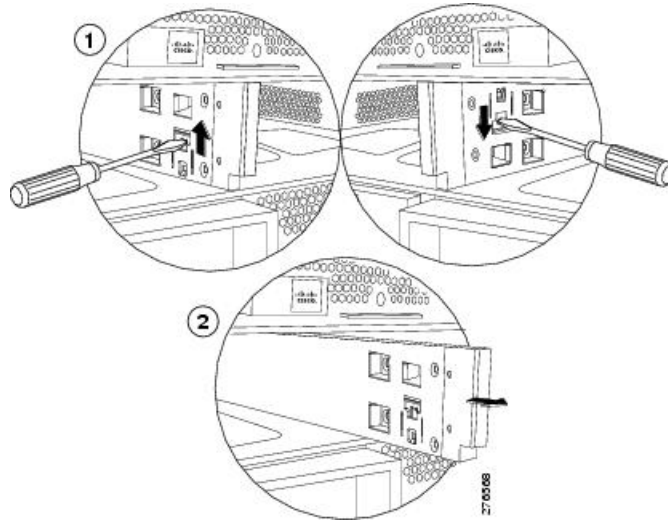
十分なエアフローを確保するために、シャーシにブレードサーバを取り付ける前に、ブレードサーバのカバーを取り付ける必要があります。

手順

ステップ 1 必要に応じて、スロット ディバイダをシャーシから取り外します。

- 次の図の番号 1 に示すように左側の留め金の引き上げと右側の留め金の引き下げを同時に行います。
- 次の図の番号 2 に示すようにスロット ディバイダをシャーシから引き抜きます。スロット ディバイダは、後で必要になったときのために取っておきます。

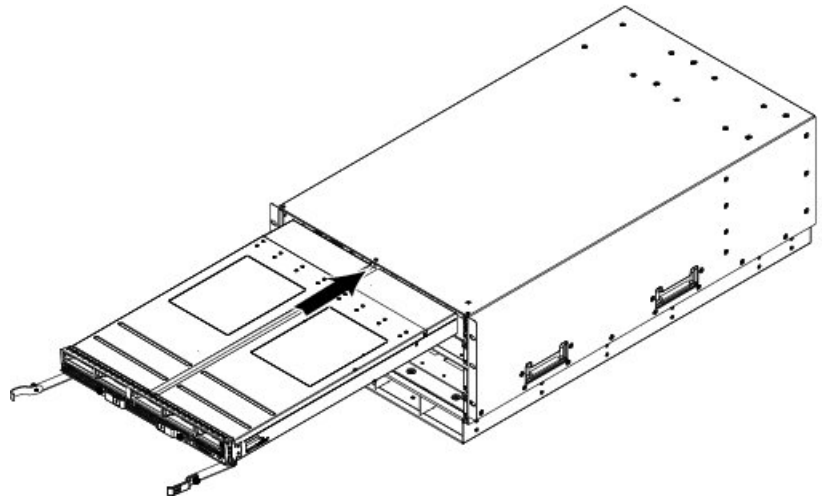
図 1: スロット ディバイダの取り外し



ヒント スロットディバイダを取り付け直すには、スロットの上面と底面にあるくぼみに合わせてスロットディバイダを挿入し、カチッという音がするまで奥に押し込みます。

ステップ 2 ブレードサーバの前の方を持ち、もう一方の手で下からブレードを支えます。

図 2: シャーシ内でのブレードサーバの位置



ステップ 3 ブレードサーバの前面にあるイジェクトレバーを開きます。

ステップ 4 開口部にブレードを差し込んでゆっくりと奥まで押し込みます。

ステップ 5 イジェクトを押してシャーシの端に固定し、ブレードサーバを完全に押し込みます。

ステップ 6 ブレードの前面にある非脱落型ネジを $0.339\text{N}\cdot\text{m}$ (3 インチポンド) 以下のトルクで締めます。指だけで締めれば、非脱落型ネジが外れたり破損したりする可能性は低くなります。

すべてのハードウェア変更がサービスプロファイルの許容範囲内であれば、取り付けしたサーバを Cisco UCS Manager が自動的に再認識および再関連付けして、サーバが稼動状態になります。

Server Configuration

Cisco UCS ブレードサーバは、次のいずれかの Cisco ツールを使用して設定および管理できます。

Cisco Intersight 管理モード

Cisco UCS ブレードサーバは、Intersight 管理モード (Cisco Intersight 管理モード) の Cisco Intersight 管理プラットフォームを使用して設定および管理できます。詳細については、次の URL にある『*Cisco Intersight Managed Mode Configuration Guide*』を参照してください。
https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/unified_computing/Intersight/b_Intersight_Managed_Mode_Configuration_Guide/b_Intersight_Managed_Mode_Beta_Guide_chapter_01010.html

Cisco UCS Manager

Cisco UCS ブレードサーバは、Cisco UCS Manager を使用して設定および管理する必要があります。詳細については、次を参照してください。使用しているバージョンの Cisco UCS Manager の構成ガイド設定ガイドは、次の URL で入手できます。
http://www.cisco.com/en/US/products/ps10281/products_installation_and_configuration_guides_list.html

電源ボタンを使用したブレードサーバの電源オフ



(注) シャットダウンする前に、UCS Manager ソフトウェアを通してサーバがデコミッションされることを確認するため、デフォルトで前面パネル電源ボタンは無効です。ボタンでローカルにサーバをシャットダウンする場合は、UCS Manager で前面の電源ボタン制御を有効にできます。



ヒント Cisco UCS Manager を使用してリモートにサーバをシャットダウンすることもできます。詳細については、次を参照してください。使用しているバージョンの Cisco UCS Manager の構成ガイド設定ガイドは、次の URL で入手できます。
http://www.cisco.com/en/US/products/ps10281/products_installation_and_configuration_guides_list.html

手順

ステップ1 サーバをローカルで使用している場合には、電源オフするシャーシ内の各サーバの**電源ステータス LED**の色を確認します。

- グリーンは、サーバが動作していて、安全に電源オフするにはシャットダウンする必要があります。ステップ2に進みます。
- オレンジは、サーバがスタンバイモードになっており、安全に電源オフできることを示します。ステップ3に進みます。

ステップ2 Cisco UCS Manager を使用して以前に前面電源ボタンコントロールを有効にしている場合、**電源** ボタンを押してから離し、**電源ステータス LED** がオレンジ色に変化するのを待ちます。

オペレーティングシステムがグレースフルシャットダウンを実行し、サーバはスタンバイモードになります。

注意 データの損失やオペレーティングシステムへの損傷が発生しないようにするために、必ずオペレーティングシステムのグレースフルシャットダウンを実行するようにしてください。

ステップ3 (オプション) シャーシ内のすべてのブレードサーバをシャットダウンするときは、サーバの電源を完全にオフにするために、電源コードをシャーシから外します。

注意 データの損失やオペレーティングシステムへの損傷が発生しないようにするために、必ずオペレーティングシステムのグレースフルシャットダウンを実行するようにしてください。

ブレードサーバの電源が切れます。必要に応じてブレードで追加のタスクを実行できます(例: ブレードの交換)。

ブレードサーバの削除

サーバを取り外す前に、UCS Manager を使用してサーバを停止します。シャーシからブレードサーバを取り外すには、次の手順に従います。

手順

ステップ1 ブレードの前面にある非脱落型ネジを緩めます。

ステップ2 ブレードのイジェクトレバーを引いてブレードサーバの固定を解除し、シャーシからブレードを取り外します。

ステップ3 ブレードをシャーシから途中まで引き出し、もう一方の手で下からブレードの重量を支えます。

- ステップ4** 完全に取り外したら、取り外したブレードをすぐに別のスロットに取り付け直さない場合は、静電気防止用マットまたは静電気防止用フォームの上にブレードを置きます。
- ステップ5** スロットを空のままにする場合は、適切な温度を維持し、シャーシにほこりが入らないようにブランクの前面プレート (N20-CBLKB1) を取り付けます。
-

サーバのトラブルシューティング

全般的なトラブルシューティングの情報については、『[Cisco UCS Manager Troubleshooting Reference Guide](#)』を参照してください。

